

前号で、少し触れたが、北海道太平洋沿岸は、日本有数の霧多発地帯である。データを調べてみると、釧路や根室では、霧日数の平年値が 108 日である。5 月から 8 月の 4 ヶ月間は、月 10 日以上、最多の月は 7 月で 20 日を越えている。

因みに、日本のベスト 3 は、軽井沢 134 日、京都の豊岡 113 日、次いで根室の 108 日である。霧の街ロンドンは、実は、スモッグの街を文学的に表現したものである。ゆめゆめ誤解無きよう。

釧路や根室で夏場に多く発生する霧は、観光客には、幻想的な印象を与えているが、そこに住む人にとっては厄介なものだ。(朔東から第 27 号：厄介な道東の風物詩を参照)

先日、機会を得て、留辺蘂に遊んだ。遠くに見える三角形の山が一際目を引いた。聞けば、北見富士、通称三角山と言うのだそうだ。標高 1291m である。此处にも、富士山があったかかと全勤務地が富士山麓であった私は、言い知れぬ感動を覚えた。

日本全国では、「富士」の名の付く山は 300 以上とも、350 以上とも言われている。日本人にとっての富士山は、いつかは登りたい山であり、そして富士講、富士信仰があるように、心象風景として切っても切れない関係にあるように思える。そういう意味で、富士山は矢張り信仰の対象であり、それが各地に富士山が沢山生まれた理由なのだろう。

気になって、○○富士を調べてみた。北海道では、春・夏・秋の 3 回ほど登山した事もある蝦夷富士(羊蹄山)や、利尻富士と言われる利尻山が夙に知られているが、関連ホームページを調べてみたところ、多いもので 18 個、少ないものでも 15 個が掲載されていた。

管内では、著名な知床富士、阿寒富士の他、4 乃至 5 山ある。朔東の富士山を、以下に簡単に紹介しよう。

① 知床富士：羅臼岳 1661m

知床連峰の盟主、知床峠からの眺めは最高だ。知床半島は当然、道東地区の最高峰であり、日本百名山の他花の百名山、北海道百名山等にも選ばれている。コニーデ型火山、万年雪の雪渓もある。

羅臼とは、動物の内臓物の沢山ある所を意味し、熊・鹿等を葬った場所。

登山口は 2 つある。

② 阿寒富士：同名、1476m

阿寒カルデラの火山群の一つ。神秘の湖阿寒湖とのコントラスト最高。秘湖オンネトウから眺め絶景。同じく、山頂からのコバルトブルーの湖も最高だ(全景が眺められるのは阿寒富士の頂上のみ)。山頂は比較的広いが、東側斜面は侵蝕が進み、深い谷になっている所あり。山頂から真下に雌阿寒岳の噴火口が見える。登り 2 時間半程度、登り易く、下り易い。元気な人は、雌阿寒岳、阿寒富士そして雄阿寒岳を一日で制覇出来る。雌阿寒岳から阿寒富士への縦走は 1 時間である。雌阿寒岳から阿寒富士の眺望、不気味な青さの青沼を堪能して欲しいものだ。尚、雌阿寒岳は、平成 12 年、登山禁止が解除され、登山可能である。

- ③ 北見富士：北見富士 1291.0m 留辺蘂町
同名の山が紋別市にあるので、念の為。アイヌは、ユクリタヤナシ（鹿の越年する高山）と呼んだ。登山道は荒れているので、要注意。恩根湯温泉街からの眺めが良い。
- ④ オホーツク(or 斜里)富士：斜里岳 1545.0m 斜里郡清里町
道立自然公園指定、山岳公園
山頂から摩周湖、知床半島、オホーツク海、国後島を一望出来る。
- ⑤ 温泉富士：同名、660.2m 標津郡中標津町
近くから眺めてもしっかりしないそうだが、中標津の街外れからは小型富士の趣あり。
- ⑥ 国後富士：チャチャ岳(爺爺岳) 1822m 根室郡国後島
国後島最大の山、千島列島では阿頼度島の阿頼度富士(2334m)に次ぐ高さ。寛政年間の記録によれば、『頂上には湖あり、(中略)、神霊の座す所でアイヌの人々の尊崇を集めている』と。
- ⑦ 糠平富士：ウペペサンケ山、1835m 上士幌町
あるHPで紹介されているが、ポピュラーかどうかは不明。

(参考：各種HP、パンフレット)